

第31回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

- | | |
|--------|--|
| 1. 日 時 | 平成 9 年 9 月 1 0 日（水）
1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0 |
| 2. 場 所 | 委員会会議室 |
| 3. 議 題 | (1) 前回議事要旨の確認
(2) 平成 9 年度「宇宙の日」記念行事について
(3) 宇宙実験用小型ロケット(TR-1A)5号機実験成果について |
| 4. 資 料 | 委31-1 第30回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
委31-2 平成 9 年度「宇宙の日」記念行事について
委31-3 宇宙実験用小型ロケット(TR-1A)5号機微小重力実験
成果報告 |

委 31 - 1

第30回宇宙開発委員会（定例会議）

議事要旨（案）

1. 日時 平成9年9月3日（水）
 14:00～15:10
2. 場所 委員会会議室
3. 議題 (1) 前回議事要旨の確認について
 (2) 地球資源衛星「ふよう1号」（JERS-1）の運用状況について
 (3) 技術試験衛星V型（ETS-V）の運用終了について
 (4) 宇宙実験用小型ロケット（TR-1A）6号機の打上げについて
4. 資料 委30-1 第29回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 委30-2 地球資源衛星「ふよう1号」（JERS-1）の運用状況について
 委30-3 技術試験衛星V型（ETS-V）の運用終了について
 委30-4 宇宙実験用小型ロケット（TR-1A）6号機の打上げについて
5. 出席者
 宇宙開発委員会委員長代理 山 口 開 生
 宇宙開発委員会委員 末 松 安 晴
 “ 長 柄 喜一郎
 “ 秋 葉 鏖二郎

関係省庁

通商産業省機械情報産業局次長

河 野 博 文（代理）

郵政大臣官房技術総括審議官

麿 昭 男（ 〃 ）

事務局

科学技術庁研究開発局長

青 江 茂

科学技術庁研究開発局宇宙政策課長

千 葉 貢 他

6. 議事

(1) 前回議事要旨の確認について

第29回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）（資料委30-1）が確認された。

(2) 地球資源衛星「ふよう1号」（JERS-1）の運用状況について

通商産業省航空機武器宇宙産業課 井元宇宙産業企画官及び宇宙開発事業団地球観測システム本部 市原地球観測推進部長より、資料委30-2に基づき、平成4年2月に打ち上げた地球資源衛星「ふよう1号」（JERS-1）に発生したミッションデータレコーダ（MDR）の再生画像のノイズ現象について、その原因、観測への影響、今後の運用方法、原因究明活動等の説明があった。

これに関し、委員より、MDRから同画像データを複数回出力する方法によるノイズ現象の再現性の検討状況、MDRの磁気ヘッドの構造、耐用年数の2倍以上にわたり運用できた理由、耐用年数を2年と設定した理由、MDR劣化による合成開口レーダ（SAR）側への影響、SARの世界各国での利用状況、ノイズを補正した画像データの利用の可能性、MDRを利用せず直接受信を行う場合のユーザーへの影響、今回の現象は不具合ではなく劣化によるものとする理由等について質問があった。

(3) 技術試験衛星V型（ETS-V）の運用終了について

宇宙開発事業団軌道上技術開発システム本部 芦田追跡ネットワーク技術

部長より、資料委30-3に基づき、昭和62年8月に打ち上げた技術試験衛星V型（ETS-V）について、バッテリーの劣化、推薬量の減少等の理由により9月12日に停波させ、運用を終了すること、また、衛星寿命と設計寿命の考え方、燃料消費状況及びその評価等の説明があった。

これに関し、委員より、本衛星を活用してアジア太平洋地域との遠隔教育や遠隔医療の実証実験を行うことを目的としたパートナーズ計画の概要について質問があった。

(4) 宇宙実験用小型ロケット（TR-1A）6号機の打上げについて

宇宙開発事業団宇宙環境利用システム本部 高松総括開発部員及び宇宙輸送システム本部 中野打上・運用室長より、資料委30-4に基づき、宇宙実験用小型ロケット（TR-1A）6号機について、地上対照実験を実施したところ、多目的均熱炉で実施する実験について対策処置が必要であると判明したため、9月11日の打上げ予定を9月19日に延期したこと、今後の打上げ作業の予定等について説明があった。

これに関し、委員より、これまでに実験シーケンスの変更等により打上げ延期となった事例、多目的均熱炉の再使用状況、打上げ延期による打上げ準備作業への影響等について質問があった。

以上